**10月17日　株式会社GIFMAGAZINE　代表取締役社長　大野　謙介　氏**

**問１　学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ**

“一ヶ月後に社長になる方法”というフレーズのインパクトが大きく、今回の講義にはすごく惹き込まれるものがありました。起業して、自分がやりたいことを自分で立ち上げることは簡単ではないと思っていたけど、まずは０を１にするという考え方があることを知り、小さなことでも行動してみようかなと思いました。私も自分の何年後かの最高の状態を想像しながらやりたいことをみつけて行きたいと思います。また、今回のTwitterと同時進行の授業はとても画期的だなぁと思ったし、大野さんの考え方がすごく好きだったので参考にしていきたいです。　（経営学部　経営学科　１年）

これまで勉強という概念でしか学部を見ていなかったので、経営といわれると文系的イメージがとても強かったが、ビジネスを立ち上げるに至るまでに色々とロジカルに考えなければならないことがわかってとても印象に残った。これからのメディアの発展は今以上に加速していき、その発展の中心にいる若者の中でもそれについてゆける者とそうでない者とが顕著に分かれると思うがそのような速いトレンドの移り変わりでもGIFのビジネスは生き残っていけるのだろうか（都市科学部　環境リスク共生１年）

工学のセラミックスの研究室の出だそうで、私と近いところからこんな有名なモノを扱う社長さんが生まれていたとは驚きました。若いのでこちらも身構えずに話を聞けるし、話もダラダラしてなくて聞きやすかったです。リクルートにいたからなのか、社長経験からなのか、ワークシートの件など、8つ上とは思えないほど中身の詰まった人で、この授業で既に意識が変わってきました。経営的な話がそんなに深くなかったと私は感じたので、専門知識がなくても話についていけてありがたかったです。(理工学部　化学・生命系学科　3年)

gifは30年前の技術だと聞き、驚きました。昔は普及していなかったものの面白さに着目し、それで事業を始めたのはすごいと思いました。また、やりたいことを見つけるうえで「死ぬときの最高の状態」などを考えることに共感したし、高校生など相手にも使えると思いました。進路を考えるうえで参考になると思いました。また、大学生時代に実際にやりたいことを行動に移していて、行動力に驚きました。「最高の状態がわかったら、まずは0を1にする。」という言葉が印象に残りました。０と０．００００１はちがう、という言葉に説得力がありました。（教育人間科学部・学校教育課程数学学科3年）

作品に対する愛を感じました。インターネット上にある作品を無造作に持ってくるのではなく、作家になりたかった方々と共に良いものを作っていくために、質の良い作品を多く持っているとのお話がありました。無造作に持ってくる方が楽で簡単ですが、時間がかかって面倒なことをコツコツとすることで信用を築けたことが素晴らしいことだなと思いました。また、1カ月で社長になる話が面白く、自分はやりたいことが分からず悩んでいましたが、ワークシートを使って自分の考えを書き出していくことで、、少し自分の事が分かって良かったです。今まで勉強しても使わないだろう、無駄なことをやっているんではないだろうかと感じていましたが、これをきっかけに授業はしっかり聞かなければいけない、その方が自分にプラスになると感じることが出来ました。 (教育人間科学部 学校教育学科 4年)

最小価値でサービスを作る方法を分かりやすく教えて下さってとてもためになる授業でした。大学生である身分でやるべきことや、気をつけた方がいいことできることできないことをたくさん教えていただいて、自分の考えを実現する一歩を探すきっかけになりました。また、自分はどうしてもこの仕事をしたいということがないので、仕事だけが自己実現の場所ではないというお言葉にも新しい観点を教えていただいた気がしました。お金のことは仕事を立ち上げるに当たってよく考えなければいけないことだと、前回のビジネスプランコンテストで学びましたが、実際どこからお金を借りるか分からなかったので今回の講義はとてもためになりました。本日は貴重なご講演をありがとうございました。(経営学部1年)

YouTubeと同じようにGIFの世界にもクリエーターや様々なGIFがあることを初めて知った。今度から見てみようと思った。私はTV番組を作ることが夢だけど、GIFの世界で動画を作ることも楽しそうだと思った。ワークシートで自分の過去や未来と向き合うことで、今の自分が本当はどうしたいのかを知れた気がする。「一番のハードルは自分の心」本当にそうだと思う。けれど、資料に書かれているプロトダイプも例は、気軽にできるものばかりで、実際にやろうとすることは自分が考えているよりもずっとかんたんなことなのだと気づかされた。（経営学部　経営学科　1年）

今までのどの経営者の方より一番ワクワクする授業でした。私は大学中に自分で事業を始めて、アルバイトをやめても余裕で生活できるようになろうと決めています。そのためにどうやって計画を進めていけばいいかすごく細かくわかって本当にためになりました。０から１へ踏み出すのは難しいけど、私は絶対、後悔しないように２０代を過ごそうと思いました。本当に有り難うございます！！(経営学部１年)

やりたいことに気づくために、過去を振り返ったり、将来像について考えるという方法があることを知らなかったので、今回知ることができてよかった。成功例について学ぶことが大切だとわかった。お金を借りるためには、いろいろな資料を作成するなど、大変なのだと分かった。自分のやりたいことは、他人の目を気にせず、やるべきだということが、印象に残っている。少しでもやりたいと思ったことがあったら、やっていこうと思う。（経営学部　1年）

**問２　今後のアクションに繋げていきたいこと**

今回の授業でワークシートを作り、自分のやりたいことは海外で働く、ということがわかった。これは、父が単身赴任で、海外で仕事をすることが多く、子供の頃から海外へ行く経験が多々あり、海外に対する憧れが大きいからであろう。今日見つけた自分のやりたいことに向かい、大学での英語の勉強をおこたらず、学力を向上させていきたい。（経済学部　１年）

“最高の状態が分かったら0→1にする”という言葉が私の心に残りました。今の自分には、やりたいことを見つけても、それを膨らませて0→100にすることはほぼ不可能です。だから今の自分の立ち位置とできることを理解したうえで、自分に見合った方法でまず0→1を進めたいと思います。(経営学部　1年)

私は理工学部の情報系学科であり、普段の学習と今回の講義にある程度の接点があったため、内容に興味を持てた。だから、本講義で紹介されたインターンや、そのほか制作系のインターンに参加し、実際に体験したいと思った。(理工学部　数物・電子情報系学科　3年)

自分もマーケティングに興味があるので、どのような顧客層を狙ってどのような自社価値を生み出せるかというのを具体的にセグメント化してアイデアを考えていこうと思った。（経営学部　1年）

私は、来年度から「映像で地域をプロモーションする」プロジェクトを始めようと考えています。そうした事業を考えていく中で、自分のやりたいことを本当に始めていいのだろうか、という心配をしている最中でした。そのような中でお話を聞くことができ、「自分のやりたいことをもっと具体的、かつ前向きに詰めてみよう」という気持ちになりました。本当にありがとうございました。(経営学部１年)

**授業スタッフの感想**

あんなにイケメンなのに、しっかりいろいろなことを考えていらっしゃって、自分の軸を持っていらして、自分もそうなりたいなと思った。自分は自分の日々の生活のことから人生全体のことも自分なりに日々頭を働かせているという自覚を持っている。それはそれでもっと高めていって、さらに見た目にも気を使うということをしたいと思う。おしゃれにきれいにして見た目にも気を使って、才色兼備を目指したい。そして「０から１へ」を実行したい。この前中国に行ったときに買ったかわいいクッションと、古本屋で買った(１０冊で１０円)本を売ってみようかな。そして自分で服をデザインしてみたいなと思う。口だけじゃなくて本当に行動できる人間になりたい。

大野さんのツイッターを使った授業、初めての体験で、面白かったです。私の固定観念が崩れたのは、工学部卒業の大野さんが経営を、経済学部卒業のパートナーさんが製作をしているということです。大学で学んだことも大事だけど、それ以外の分野のことに突っ込んでも自分で学んでいけば不可能はないと学べました。まずは今自分のやるべきことをしっかりしていこうと思いました。

　アンケートにも多くありましたが、今回の講義では、学生がリアルタイムでTwitterに投稿し、見られるという形をとっていて、面白く感じました。また、大野氏のお話もとても興味深かったです。新しい何かを起こすのに0→0.001でもいいということと、昔から好きなものを生かすということ、また、それらの例を挙げて下さったことが特に良かったです。ビジネスを起こすことにハードルの高さを感じていましたが、インターネットの普及で様々な形で参入できることを学ぶことができました。また、何かわからないことがあるときに、「調べる」「経験者の話を伺う」など、自ら行動を起こすことが第一ということを痛感させられました。

　次回は、今問題になっている「メルカリ」や春学期に講演していただいた「PIXTA」を手がけたベンチャー・キャピタルの高宮氏と、春学期には聞くことができなかった花房氏のお話を伺えるのは楽しみです。ベンチャー・キャピタルの起業家に対する姿勢などを学べたらいいなと思います